

疫学(臨床)研究実施についてのお知らせ

大阪市立大学大学院医学研究科
発達小児医学

【研究課題名】

臍帯血アミノ酸分析を用いたSmall for Gestational Age(SGA)の病態と成因に関する研究

【研究期間】

倫理委員会承認後 ～ 2019年3月31日

【研究の意義・目的】

近年、我が国では少子化が進む中、低出生体重児の出生率が増加し、年間10万人に及んでいます。周産期医療はどんどん進歩しており、低出生体重児も元気に成長し社会で活躍できる時代になりました。しかしその一方で、胎生期からの赤ちゃんの環境が大人になったときの健康状態に影響するという概念が提唱されており、赤ちゃんがどうして大きくなれないのかを調べることは非常に大切な意味をもつことがわかってきました。

本研究では、胎生期の赤ちゃんの環境を示す指標の一つとして胎盤の一部である臍帯血アミノ酸分析を評価し、在胎週数のわりに体格の小さいSGAとよばれる状態がどのようにして生じるのかを調べることを目的としています。

【研究の方法】

「産科臨床研究検体採取・保存に対するご協力をお願い」に御同意を頂いた方の、検査が終わった臍帯血検体の残りを使用しアミノ酸を測定します。母体と子供の診療録から妊娠中の経過や出生時の状況に関する情報を集め、アミノ酸分析の特徴との関連を調べます。

【研究組織】

研究代表者 濱崎 考史

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者 濱崎 考史

住所 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 発達小児医学

電話 06-6645-3816

FAX 06-6636-8737

E-mail hammer@med.osaka-cu.ac.jp